

もりしあ人

— 森があるしあわせを伝えたい —



ふなとがわはつき 船渡川葉月さん

神奈川県出身、日本大学生物資源科学部森林資源科学科卒業。卒業後、東京のNPO法人「共存の森ネットワーク」に勤務。平成23年5月に飯豊町中津川地区に1ターン。現在、農業と菅笠づくりを勉強しながら山の資源で生活する形を模索中。NPO法人美しいやまがた森林活動支援センター活動スタッフ

中津川で暮らしをつくる

東京のNPO法人で働いていた船渡川葉月さん。そこでの活動が飯豊町中津川地区への移住という一大決心へとつながったとのこと。船渡川さんにはどんな化学反応が起こったのでしょうか。

「NPOではどんな仕事をされているんですか？」

「聞き書き甲子園」という事業を担当していました。全国の高校生が山林で暮らす名人から生き方や生活の知恵を聞き書き、するものです。参加した高校生たちが甲子園修了後に有志で森づくりや地域に学ぶ活動を始めるというので、現地と学生たちのコーディネートをしていました。そのひとつがここ飯豊町中津川地区で、何度か通って7年目にここでの暮らしを決めました。

「実際に住むとなると大きな決断です。」

正直、最初はイメージできませんでした。生活、住むこと、食べることも含めて、当時の生活と全然違うわけですから(笑)。でも、通い続けるうちに、



菅笠づくりを指導する船渡川さん

季節にあった山村の仕事

「中津川での暮らしはどのようですか？」

私が「大変だろうなあ」と思ったことは、ここでは当たり前前の【日常】なんだということ。山での暮らしを、地元の人と一緒に見直したい。「もう一度暮らしをつくりたい」と思うようになりました。

伝い、夏は農作業と菅笠の材料「スゲ」の刈り取りと乾燥作業、秋は農作物の収穫、冬は菅笠づくり、そして雪かき、雪かき、雪かき(笑)。：と過ぎました。これからも1年中季節にあわせた山での仕事ができる、と思っています。

「菅笠づくりに関わっているんですね。」

花笠踊りで使う菅笠の8割がここ中津川で生産されています。材料となるスゲの田んぼ(スゲ田)の管理や刈り取

体で感じたことを伝えていきたい

「ここで暮らす覚悟が感じられますね。」

東日本大震災(平成23年3月)を経験し、今まで積み上げてきた【日常】が揺らぐかもしれないと思ったとき、周りから与えられた環境ではなく、自分のベースになるものをきっちり身につけることが大切だと確信したんです。私の場合、自分らしくいられるのは、机に向かってるときではなく、現地で体を動かしているとき。だと思ったので、山の暮らしの中で体で感じたことを伝えていきたいと思っています。

企業だって森づくり♪

～パレスグランデール絆の森編～



担当者の声



株/パレス平安 婚礼営業部 門脇智子さん

株式会社パレス平安(山形市)では、昨年11月から山形市の蔵王みはらしの丘で「パレスグランデール絆の森」の活動を始めました。コンセプトは『家族の未来・地域の未来・地球の未来』。結婚生活をスタートさせるカップル30組の皆さんに、結婚の記念に桜の木を植えてもらうイベントです。

「第1期の「絆の森」が、いよいよスタートしました。はい、24年7月から10月まで植樹をご希望されるカップルを募り、昨年11月21日に催しました。当日は、当館においでいただき、記念のプレートをお渡しするセレモニーから始めました。プレートには桜の種類「ソメイヨシノ」「オオヤマザクラ」、挙式日、二人のお名前が入っています。その後皆さんと一緒に蔵王みはらしの丘に移動して植えました。当館でも初めての企画でしたので、県や専門家の皆さんからホントに助けていただきました。

「カップルの皆さんは、みんな笑顔でした。木を植えること自体が新鮮ですので、皆さん興味津々のご様子で楽しんでいただけたようです。初めての催しでもありますし、皆さんにあまりお手間を取らせられないかがかと思ひ、土をかける程度の作業だったのですが、スタッフの私たちより皆さんの方が活動的ないでたちで、「六揺りから自分たちでしたかったのに!」との声も。あとで感想をお聞きしたところ、「ウェディングドレスを着てここで写真を撮りたい!」「子どもができたら一緒に花見ができるね!」「ここに家を建てたい」など大変喜んでいただき、自分たちの未来につながる場所ができた様子でした。

「この場所が家族としてのスタート地点なんですね。」
樹を植えることは、それで終わりではなく、慈しんで育てていくという未来につながる作業の始まりなんです。この場所で、皆さんが家族としての絆を深めていただければ、大変うれしいです。私どもは、結婚されるお二人のお手伝いをさせていただいているわけですが、新婦様から「式が終わったら(私たちとの)おつきあいがなくなってしまう」とのうれしいお言葉をいただくことがあります。私どももせっかくなので縁を大切にしたいので、この「絆の森」をきっかけに何かできないか、考えていきたいと思っています。

読者プレゼント パレスグランデール[レストラン コンフェッティ]のお食事券を抽選で5名様にプレゼント! 詳しくはP11をご覧ください!

★やまがた絆の森プロジェクト★ 企業等と森林所有者と県との三者協定による森づくり活動。現在28社・団体、23箇所で活動を展開中。